

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	国際貢献事業補助金交付				継続				
コード	26	-	23	-	01	-	00	予算事業名	国際化施策の推進
担当部署	文化スポーツ部	文化振興課	国際交流担当	予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 16	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	4節	多文化共生と国際交流・協力の推進	個別計画等の名称	第三次国際化基本計画
施策	1	多文化共生と国際交流・協力の推進		
細施策	2	外国籍市民も暮らしやすいまちづくり		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	地域に暮らす外国籍市民を含むすべての市民が、相互に理解し尊重し合う多文化共生社会を創出するため、情報提供や団体への支援を行う。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	地域の国際化に貢献する団体に対し、予算の範囲内(40,000円×5団体)において補助金を交付する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		300	250	200	200	200	
事業費	A	300	250	200	120	200	200
	B	74	74	74	74	74	74
総コスト(C=A+B)		374	324	274	194	274	274
正規職員(1年間の従事人数)		0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(=C-D-E)		374	324	274	194	274	274

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
補助金の交付団体	団体		6	5	5	3	補助金の交付団体数
中心指標の考え方	本事業は、活動指標を中心に評価する。						
指標に基づく評価	平成23年度は協働事業補助金に切り替えた団体もあり減少したが、基本的には補助金交付団体について予算の限度まで利用されている。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	課題はない
市民団体の国際化に貢献する事業について、市民の国際化を支援するという観点から今後も継続していく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	さいたま市、所沢市、越谷市では行っていない。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	市民の国際化に貢献する事業について、市からの補助金がなくなるため、市民活動が縮小していくことになると考えられる。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
極端に増減はしないが、利用する団体にとっては必要な補助金であると考えている。	